おびら議会だより

北海道小平町

夜空を彩った臼谷花火まつり【西村委員 撮影】

Contents

正副議長就任挨拶　２Ｐ
第１回臨時会・議会の構成・研修会レポートほか　３Ｐ
第２回定例会　４Ｐ
一般質問　５～６Ｐ
総務産業常任委員会所管事務調査　７～８Ｐ
議会の動き　８Ｐ

No.81

2019.8

新しい議会がスタートしました！

去る５月10日に改選後初めての議会が開催され、新体制が決まりました。

議長に藤田貢議員、副議長に前崎正弘議員就任

就任のごあいさつ

議長
藤田　貢（63）
当選　６回

この度、議員各位のご支持を得て、再び議長の要職に就任させていただきました。重要な職責に、身が引き締まる思いでありますが、４年間の経験を踏まえ、議員各位の協力をいただきながら全力で務めさせていただきます。

今回の選挙では、８人の定数に対し９人が立候補し、２人の新人議員が誕生しましたが、全道・全国的に見ますと無投票も珍しくなく、中でも全国では８町村、道内ではその半数の４町村が、立候補者数が定数に満たなかった状況がありました。

理由は様々でしょうが、我々議員一同が互いに研鑽に努め、議会を活性化していくと共に、町民の皆様のご意見を拝聴し、町民お一人お一人が「ふるさと小平」を思い、町政に参画する意欲を高揚するような議会づくりに励む所存であります。

10月からの消費税増税が確実視され、ことさら景気向上の兆しが見込めずに、閉塞感が漂う道内経済ですが、そのような波に飲み込まれぬよう、今後の議会運営において、行政執行機関と議会が一体となり、将来の小平町のあるべき姿を創造し、多様化する住民ニーズに応えるよう、誠心誠意、職責を全うする覚悟でありますので、今後とも町民皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

副議長
前崎　正弘（58）
当選　２回

この度、改選後、初めての議会におきまして、議会議員各位のご推挙を賜り、伝統ある小平町議会の副議長を務めさせていただくことになりました。

浅学非才の私であり、その責任の重さを痛感し身の引き締まる思いであります。

町民各位の負託に応え、町政発展のため、議長の補佐役として微力ながら真摯に取り組みたいと考えております。

わが町においても、少子高齢化、人口減少、それらに伴う労働力不足等も顕在化してきております。

いつの時代も、解決が困難と思われる課題があるものと思いますが、このことも、克服しなければならない難しい大きな課題であります。

８名と少ない議員数ではありますが、皆様の期待に応えることができるよう、お互いに切磋琢磨し、未来の小平町のあるべき姿について議論をしていくことも大切と感じています。

今後とも、小平町議会に対し、なお一層のご支援ご協力を賜りますとともに、町民の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

第１回臨時会

令和元年第１回臨時会は、５月10日に開催され、議会構成を決定する議案の外、承認３件を原案のとおり承認しました。

▼小平町町税条例等の一部改正

・地方自治法等の改正に伴い、所要の改正を行いました。

▼小平町国民健康保険税条例の一部改正

・地方税法等の改正に伴い、所要の改正を行いました。

▼平成30年度一般会計補正予算（第８号）

・１千790万円を追加し、39億８千286万１千円に。

小平町議会構成

議長
藤田　貢

副議長
前崎正弘

総務産業常任委員会

委員長	西　博志
副委員長	西村健一
委員	前崎正弘
	酒谷　貢
	山内裕二
	板垣良謙
	髙野謙市
	藤田　貢

議会運営委員会

委員長	酒谷　貢
副委員長	髙野謙市
委員	前崎正弘
	西　博志

議会広報発行特別委員会

委員長	前崎正弘
副委員長	西　博志
委員	西村健一
	板垣良二
	髙野謙市

議会選出監査委員
板垣良二

留萌消防組合議会議員
板垣良二（副議長）
髙野謙市
西　博志

留萌南部衛生組合議会議員
前崎正弘（監査委員）
酒谷　貢
西村健一

長年の功績を讃えて

このほど北海道町村議会議長会から**藤田　貢 議長**に対して、自治功労者表彰が贈られました。

議員在職25年以上の功績により表彰されたもので、６月14日、委員会室において前崎副議長から表彰状が伝達されました。

北海道町村議会議員研修会

去る６月25日、札幌市コンベンションセンターで令和元年度北海道町村議会議員研修会が開催され、全道より約1,800名の議員が出席し、当議会からも８名の全議員が出席しました。

参加議員も尚一層議会改革に努めていく決意をすると共に、大変参考となる研修会となりました。

研修会では、政治評論家の**有馬晴海氏**を講師に迎え「どうなる？今後の日本政治」と題して、政治家のあるべき姿などを通して今後の日本政治について、講演していただきました。

続いて中央大学名誉教授の**佐々木信夫氏**より「地方は変われるか～議会はどう変われるか、自治体をどう変えるか～」と題して、議会力強化や持続可能な地域政策などについて、講演をいただきました。

6月定例会

会期は６月６日から
14日までの９日間

■一般会計予算を増額補正し43億３千354万７千円に
■小平町過疎地域自立促進市町村計画に５事業を追加

条例の一部改正

▼小平町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の省令及び学校教育法の改正に伴い、所要の改正を行いました。

▼小平町介護保険条例の一部改正

・介護保険法施行令及び介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令及び介護保険の医療保険者の納付金の算定等に関する省令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

補正予算

▼令和元年度一般会計補正予算（第１号）

・８千454万７千円を追加し、43億３千354万７千円に。

▼令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）

・21万円を追加し、５千702万６千円に。

▼令和元年度介護保険特別会計補正予算（第１号）

・94万８千円を追加し、３億７千292万円に。

▼令和元年度介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）

・２万３千円を追加し、２億３千751万７千円に。

請負契約の締結

▼地域限定型一般競争入札による請負契約の締結について、次のとおり議決しました。

・大椴橋改築工事
契約金額　１億２千320万円
契約の相手方　日本高圧・ヤマモト経常建設共同企業体
代表者　札幌市中央区北３条西３丁目１番地54　日本高圧コンクリート㈱
ＰＣ事業部　札幌支社
取締役支社長　鈴木洋一

その他

▼平成30年度小平町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

・水道事業会計当年度未処分利益67万１千731円について、翌年度繰越利益剰余金として処分することを認めました。

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

▼北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

・この３つの規約の変更は、構成団体の解散に伴うものです。

▼小平町過疎地域自立促進市町村計画の変更

・農地耕作条件改善事業、水産業振興構造改善事業、小平町空き家等解体撤去補助事業、小平小学校スクールバス購入事業、ＰＣＢ廃棄物処理事業を計画に追加しました。

報告

▼平成30年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

・２つの事業の事業費総額１億３千904万９千円を翌年度へ繰り越します。

意見書

▼新たな過疎対策法の制定に関する意見書

・採択された意見書は関係閣僚へ送付されることとなりました。

議長発議

▼議員の派遣について

・６月25・26日に札幌市で開催される北海道町村議会議員研修会への議員の派遣を決定しました。

・８月27日に天塩町で開催される留萌管内町村議会議員研修会への議員の派遣を決定しました。

傍聴の手続きが変更になりました

これまで、議会傍聴にあたっては、傍聴人受付簿に記入をお願いしておりましたが、傍聴者の個人情報に配慮し、**傍聴人受付票**に住所、氏名及び性別を記入し、**傍聴人受付箱へ投函**していただくこととしました。

●町議会の定例会は、年４回開きます。（３・６・９・12月）
議会はどなたでも傍聴できますのでどうぞお気軽にお越しください。

傍聴人受付票

年　月　日

住所	
氏名	
性別	男・女
会議名	○○年第○回小平町議会定例会（臨時会）

※記入いただいた個人情報に関しては、他の目的には一切利用しません。
※記入後、傍聴人受付箱に投函してください。

一般質問

Q　高齢者などの福祉について

西　議員

一、庁舎等公共施設の利用にあたり、高齢者や身体の不自由な方への対応は充分であると考えるか伺いたい。

また、鬼鹿地区の「高齢者グループホームはまなす荘」について、長期空室が続いているが、どのように考えているか伺いたい。

A　可能な限りやさしい公共施設づくりに努めてまいりたい
はまなす荘は募集や奉仕員の訪問による周知を継続していく

町長　関　次雄

一、公共施設は全てバリアフリー化に整備はされていないが、車椅子等に対応する為のスロープ、障害者用トイレの整備や階段への手すり、カウンターを低くし椅子を設置するなどの対応はしている。

しかしご指摘された、庁舎の車椅子の配置や歩行器の配置、車椅子の空気漏れなどの管理体制は「福祉の町」と致しましても、万全にする必要はあると考えている。

はまなす荘の空室は、３部屋が平成29年より２年以上の長期に及んでおり、当初の考えでもあった町内遠隔地の世帯誘致も、住み慣れた地域からの移動を懸念される方も多いことが、実状であるが、今後も広報掲載による募集や奉仕員の訪問による周知を実施してまいりたい。

Q　一、今後の育児環境支援について
二、深川・留萌自動車道全線開通後の地域活性化について

西村　議員

一、第６次小平町総合計画では「こどもを生み育てたいと思えるまち」を共創していくとされているが、現状の施策を含め、今後の育児環境支援について伺う。また、育児世帯の住環境についての整備推進や全天候に対応するこどもの活動空間の整備等、こどもの笑顔が見える環境についての支援・施策について考えを伺う。

二、「カウントダウンキャンペーンオロロンサミット２０１９」にて、管内市町村を視察したうえで、他の市町村との比較を踏まえ、小平町をどのようにアピールして地域活性化に繋げていくのか考えを伺う。

A　一、こども達が帰って来れる環境づくりに努める
二、オロロンラインが連携して売り込む必要ある

町長　関　次雄

一、平成27年に小平町総合戦略を策定し、子育て世帯の経済的支援や子育てと仕事の両立支援を進めており、保育料や乳幼児医療費の無料化等の実施で一定の成果を上げているところである。現在の施策の継続性や改善点を見極め、更なる子育て支援体制の推進と育児環境の充実を図る。また、住環境整備については、公営住宅には所得制限や家賃についての制約もあるため、時代のニーズに合わせた民間住宅の推進や個人の新築・増改築についての助成措置を検討していく。全天候型の施設については近隣市町でも成功例があるが、当町ではおびまる広場利用推進や海洋センターの環境づくりなどを進め、どこからでも人が集まって元気な笑顔がこだまするような町づくりを目指している。当町のこども達が思い出になる、誇りになる町づくりをして、自信をもって将来帰って来れる環境づくりに努めてまいる。

二、当町においてはゆったりかん周辺また道の駅周辺の観光をＰＲしたところだが、全線開通効果の持続やさらなる地域活性化に繋げるため、管内８市町村が連帯感を高めよりインパクトのある情報発信に繋げていく。食と観光、景色の歴史、文化をオロロンラインが連携して売り込んでいく必要があり、その情報発信についても自治体や事業者が意識をもって進めていき、成果の検証も含めて取り組んでいく。

一般質問

Q 有害獣の駆除について

前崎議員

一、有害獣、特にアライグマについては駆除を実践しているにもかかわらず増加傾向にあると実感している。

更なる対応について検討しているか伺う。

A 捕獲従事者を確保し、管内連携も検討したい

町長　関　次雄

一、エゾシカについては、引き続き猟友会に駆除を依頼していきたい。

アライグマは、23年度から駆除を行っており、28年度までは、20頭前後で推移しておりましたが、29年、58頭、30年、69頭、元年６月10日現在、21頭の駆除頭数となっており、増加傾向にあると認識している。

農業被害に加え、生活環境被害が予想されるため、捕獲従事者講習受講者を町内会を通じ広く募集するなどの取り組みにより、現在、152名が捕獲従事者として登録されている。

今後も捕獲従事者の確保に努め、管内連携の取り組み等も検討してまいりたい。

Q 一、農泊推進対策事業・人材活用事業について
二、第三セクター等経営健全化について

板垣議員

一、本町の農山漁村の地域資源を活用し、宿泊滞在体験プログラム商品開発や魅力ある商品づくりと集客力の向上等、本町の観光振興を図るため、事業主体となる「小平町農泊ビジネス推進協議会」を設立したが、事業の進捗状況はどのようになっているか。また、今後の方向性も含め行政としてどのように連携し、この事業の推進を図るのか伺う。

二、第三セクター等と関係を有する地方公共団体が第三セクターの抜本改革を含む経営健全化のための指針として、平成30年度に「小平町第三セクター等経営健全化方針」が策定されましたが、具体的な対応について現段階でどのような状況なのか伺う。

A 一、一歩一歩積み上げた中での連携・支援を図る
二、町からの適度の財政支援の継続回避に努力する

町長　関　次雄

一、農泊事業については、推進協議会で今後の計画等を十分協議して頂き、方向性や計画が示されたら町としての支援を考える。また、「ゆうゆうそう」の農泊の拠点化については今年度の事業計画も十分見極め、無理やリスクを背負わない状況の中で相乗効果が上がる事を委ねなければならないと考える。管内各団体等との連携については、様々な要素の中、一歩一歩積み上げ実績を作ることで連携・支援を図ることが大事であると考えている。今年度より、協議会の事務局については、専任職員を配置し連携を図り、支援体制は怠る事の無いように取り進める。

二、第三セクター等の関係については、町が100％出資の㈱おびらが指定管理者として「ゆったりかん」の運営をしているが、その経営状況について厳しいものがあり、採算性が無い状況である。目に見えた成果が得られない状況下で、運営について慎重に見極め、町からの財政支援の継続を回避し、健全化に努力しなければならないし、経営責任者として責任も感じている。今後については、改善策をどう見出し、様々な状況下でどの様にクリアしていくか、第三セクター経営陣・町として内部で検討をして、改めて議会へ提案する。また、議会でも特別委員会等を設置して頂き、時間をかけて結論と方向性を見出したいと考えるので、長としてお願いしたい。

総務産業常任委員会所管事務調査

去る７月10日、新体制になってから初めての総務産業常任委員会（西委員長）の所管事務調査が行われましたので、その様子を報告します。

①鬼鹿公民館管理状況について

鬼鹿公民館については施設建設より47年を経過し、老朽化が著しくかつ高齢者等の利用に不便な点が多々見受けられるため、少しでも早い時期の建て替えが望まれる。

地域住民の意見・要望を充分に尊重し、幼児から高齢者までが利用し易いコミュニティセンターの建設を望む。

②小平幼児センター運営状況について

開設より10年が経過し、多様化する保育ニーズに沿った運営・経営がなされており、利用者の満足度も高いと推測されるが、施設に関して間借りの現状は決して良い保育環境とは思われない。

第６次小平町総合計画に登載されている「小平地区こども園新設工事」の早期着手が望まれる。

③小平幼稚園運営状況について

保護者のニーズに合わせた預かり保育時間の延長や支援員の雇用による決め細かな幼稚園経営がなされており、今後も職員の適正配置を実施し、万全な保育体制での運営を望む。

なお、一部施設の構造に、改善を要すると思われる箇所が見受けられたので、保育環境の向上を期するためにも改善を検討願いたい。

④埋蔵文化財資料館減築工事について

旧埋蔵文化財資料館については、老朽化が激しく景観が損なわれており、解体に向けての工事並びに文化財としての「焼けた住居」の保存について異議はない。

しかしながら、同場所に観覧のみの展示施設を設けることに一考を要するのではないか、他の埋蔵文化財を含めた展示施設の整備が望ましいと思われる。

⑤ゆったりかん施設状況について

開館以来20年以上経過し、補修的な改修は実施してきているものの、今後多額の費用を投入した大規模改修が必要と見込まれるが、改修計画の策定に際しては、稼働率を考慮した費用対効果に充分留意し、必要ならば洋室のシングル化等も視野に入れた改修を検討願いたい。

⑥寧楽母と子の家改修工事について

本工事については地域住民の要望に沿った改修が実施されており、適正な工事執行と考える。

住民の方々の健康増進や親睦活動に大いに利用されることを望みます。

また、本事業に活用した交付金については、大変町財政に有意義な制度であり、町内同様の他施設への活用も検討願いたい。

⑦堆肥製造施設運営状況について

平成19年の供用開始以来10年以上経過しており、また施設設置箇所は町内においても特に豪雪地域であるため、施設の維持整備等については年次的に計画し実施が必要である。

また、製品堆肥について販売高の減少が見られるが、農業者、農業団体との連携を更に密にし、資源循環型施設としての機能を充分に発揮されるよう望む。

議会の動き

■4月

25日　小平町防犯協会総会（議長）
27日　故 浅田隆弘天塩町長「お別れの会（町葬）」（議長）

■5月

9日　議員全員協議会（全議員）
10日　第１回臨時会（全議員）
　議員全員協議会（全議員）
13日　留萌管内町村議会議長会定期総会（議長）
14日　小平町交通安全住民大会（議長）
15日　留萌地域総合開発期成会定期総会（議長）
19日　第37回鰊番屋まつり（各議員）

■6月

4日　議員全員協議会（全議員）
　総務産業常任委員会（全委員）
　議会運営委員会（全委員及び議長）
6日　第２回定例会開会（全議員）
10日　北部方面総監 田浦陸将による「防衛に関する講演会」（議長）
　北部方面総監 田浦陸将を囲む会（議長）
11日　北海道町村議会議長会総会（議長）
　留萌管内町村議会議長会臨時総会（議長）
14日　第２回定例会再開（全議員）
　議員全員協議会（全議員）
　議会広報発行特別委員会（全委員）
16日　第２師団・旭川駐屯地記念式典（議長）
23日　留萌駐屯地創立記念式典（議長）
24日　留萌地域総合開発期成会臨時総会 及び留萌要望（議長）
25日　留萌地域総合開発期成会札幌要望（議長）
　北海道町村議会議員研修会（全議員）
26・27日　留萌地域総合開発期成会中央要望（議長）
30日　小平消防団総合訓練大会（議長）

■7月

9日　町村議会新任議員研修会（２議員）
10日　総務産業常任委員会所管事務調査（全委員）
13日　鬼鹿ツインビーチ安全祈願祭（議長）
18日　議会広報発行特別委員会（全委員）
20日　おびらしべ湖森と湖に親しむつどい（議長）
24日　総務産業常任委員会（全委員）
29日　留萌地域肉用牛共進会（議長）
31日　小平・幌加内・沼田３町広域振興協議会札幌要望（議長）

あとがき

本年は平成最後の選挙年でもあり、我々の住む北海道も知事選から始まり道議、市町村長選と多忙な年となりました。この小平町も４月21日の選挙で新人議員２名を含む８名が決まり、これから高齢者、後継者対策に知恵を出し合い頑張ります。現在、世界中で気候の変動により災害が大変多くなって来ています。それに伴い人の心も荒れて来ている様な気がします。今一度、対話が重要な時期を迎えているのではないかと思います。令和に入り議会も始まっています。町民との対話を大切にして、町長を始め皆で協力し合い小平町創生に努力します。（髙野）

●発行　小平町議会
●編集　議会広報発行特別委員会
TEL（〇一六四）五六－二一一一
●印刷　白鷗印刷㈱